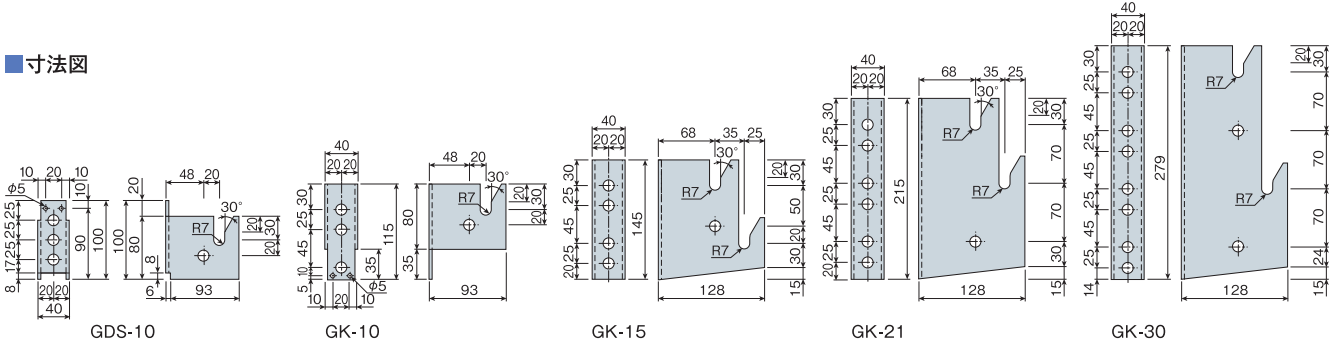


GDS-10 対応梁成：105～120mm
GK-10 対応梁成：105～120mm
GK-15 対応梁成：150～180mm
GK-21 対応梁成：210～270mm
GK-30 対応梁成：300～390mm

■ 寸法図



用途

● 構造部材(柱材や横架材など)を接合する際に使用します。

特長

● ボルトとドリフトピンによる単純な組み合わせで、強い架構が実現可能です。

施工方法

- ① ボルトにて柱材や横架材に金具を取り付けます。
 - ② 横架材の仕口には予め所定の位置にドリフトピンを打ち込んでおきます。(先行打ちピン)※1
 - ③ 横架材を落とし込んだ後、残りのドリフトピンを打ち込みます。(後打ちピン)
- ※1 先行ピンを正しく打ち込む事により、横架材を落とし込む際の落下防止になります。

サイズ	GDS-10: 93×40×100mm	GK-10: 93×40×115mm	GK-15: 128×40×145mm	GK-21: 128×40×215mm	GK-30: 128×40×279mm
材質	JIS G 3131 SPHC				
表面処理	黒色ストロンジंक (JIS D 0201 電気めっき 亜鉛-鉄合金5μm 黒色クロメート(Ep-Fe/Zn-Fe5K))				
梱包	GDS-10: 30個/ケース	GK-10: 30個/ケース	GK-15: 20個/ケース	GK-21: 12個/ケース	GK-30: 10個/ケース

使用接合具

	GDS-10	GK-10	GK-15	GK-21	GK-30
柱側 M12 中ボルト(別売品)	1本	2本	2本	3本	4本
横架材側 ドリフトピン(別売品)	2本	2本	3本	3本	4本

耐力

	GDS-10	GK-15	GK-21	GK-30
短期基準せん断接合耐力(kN)	7.0	16.1	25.6	37.4
短期基準(逆)せん断接合耐力(kN)	8.0※1	12.3	8.3	28.0
短期基準引張耐力(kN)	10.9	17.6	30.6	38.9
存在接合部倍率(引張耐力÷5.3kN)	2.0	3.3	5.7	7.3

表中の数値は(一財)建材試験センター試験データによる。 ※1.の耐力値は、(株)タツミでの社内試験データによる。

※試験時の使用木材

柱 材/寸法: 105×105 樹種: スギKD材

横架材/寸法: 105×105 ~ 330 樹種: 米松KD材

荷重ケースにおける基準耐力の算出について

短期基準耐力: 1.0とした場合、中短期: 0.8、中長期: 0.715、長期: 0.55

出典(一社)日本建築学会木質構造設計規準・同解説—許容応力度・許容耐力設計法—

告示第1460号第二号表三(クレテック)

告示表3	N 値	柱・横架材(スプルー集成材)			
		GDS-10	GK-15	GK-21	GK-30
(い)	0				
(ろ)	0.65				
(は)	1.0	○		○	
(に)	1.4		○		
(ほ)	1.6				○
(へ)	1.8	×		×	
(と)	2.8		×		
(ち)	3.7				
(り)	4.7				
(ぬ)	5.6				×

クレテックと在来蟻仕口との強度比較

